セリオ便り
二月号
-2025-

前略、お変わりございませんか？！地球温暖化と叫ばれたり
従来積もらない地域に雪が降ったり油断出来ない今日この頃です。
さて資料の整理をしていたところ大部昔の御礼状が出て来て、
なつかしさと驚きで同化員カルシウムを取り組んで間もなくの体験
でした。貴方の体調に必要と感じて出会った同化員でこの時の
体験が起点となって今日に致っております。三十数年前まだ四十代
で健康に関する仕事に大きくシフトした頃ですが、その後同化員
カルシウムの奇蹟の証しは当たり前になっている現在、感動すると
いう感受性が老化して来たかもしれません…。新ためて健康を
願って教授を念とする精神で二月号にて
皆様にもお伝えしたいと思った次第です。
お話しは変わりますが「少額でご寄付
いただけます！」という呼びかけで毎年一年に
一回少額ずつを寄付続けているのですが、
京都大学 iPS細胞研究所から年に数回
C-IRA（サイラ）という機関誌が届きます。若き
研究者達の研究の一端を拝見出来て希望
を感じています。山中教授のプロ歴は十五年
にはなるでしょうか「少額からのご寄付ありがとうございます！」のセンスの良さ
にリスペクトしかありません。二月は春迎える準備が始まるそして
さあ！自然の生命達から沢山パワーをもらって出発したいなろう
天候の変化に気を付けてご自愛の上お過ごしなさいますように
皆様のご健勝お祈り申し上げます

感謝を込めて敬具

松本幸子

令和七年二月一日

京都大学 教授
iPS細胞研究所 名誉所長
山中 伸弥